

倉澤杏菜(くらさわ あんな) プロフィール

4歳よりピアノを始める。幼少時代より続けていたバレエや、十代から始めた演劇など、音楽だけでなく多方面で表現をする事に興味を持ち、十代を過ごす。

13歳の時に荒谷俊治指揮、モーツァルト：ピアノ協奏曲『戴冠式』にて初めてのオーケストラとの共演を果たす。日本在住中には、第2回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 高校生の部第2位、第5回ルービンシュタイン青少年国際ピアノコンクールディプロマ賞、ショパン賞受賞など、国内外で数々のコンクール入賞を重ねる。

桐朋学園大学音楽学部を卒業後、ヤマハ音楽振興会奨学生(2006年度)として、国立ベルリン芸術大学に留学し、ファビオ・ビディーニ氏のもとで研鑽を積む。その後、同教授の大学移動に伴い、ベルリン国立ハンスアイスラー音楽大学に編入。ディプロマ課程を最優秀の成績で卒業。また、ベルリンで研鑽を積むと同時に、パリのスコラ・カントルム音楽院にて、アキールズ・デル・ヴィーネ氏のもとでも研鑽を積み、技巧ディプロマを取得。

2009年度文化庁新進芸術家派遣員、2010年～2012年度 ロームミュージックファンデーション奨学生。

留学中には、2010年度スタインウェイスポンサーシップ賞ベルリンにて第1位、第26回ヌエバ・アクロポリス国際ピアノコンクール第3位、第2回バルティック国際ピアノコンクール第2位、第4回パナマ国際ピアノコンクール第4位、聴衆賞などを受賞。また2011年度モーツァルトウムサマーアカデミーにて、990人のマスタークラス参加者の中からベストソリスト賞を受賞。ザルツブルク市長より表彰を受け、ザルツブルク音楽祭の一環である演奏会にも出演を果たした。

これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ソポット・ポーランド室内管弦楽団、プロツラフ室内管弦楽団、パナマ国立交響楽団、町田フィルハーモニー交響楽団などのオーケストラと共演。小西由紀子、兼松雅子、坂田晴美、奈良場恒美、下田幸二、アキールズ・デル・ヴィーネ、ファビオ・ビディーニ各氏に師事。

2014年、ベルリン国立ハンスアイスラー音楽大学院 国家演奏家資格課程を審査員満場一致の満点で卒業。

日本ショパン協会正会員。全日本ピアノ指導者協会演奏会員。

2014年 雑誌「ショパン」にて、コラム「ベルリンより」を執筆。現在同誌にて、新連載コラム「倉澤杏菜のベルリン舞台裏」を執筆中。

2015年1月には、ベルリン交響楽団よりソリストとして迎えられ、ベルリンフィルハーモニー大ホールにデビューし、その数ヶ月後、同交響楽団よりソリストとして抜擢され、同ホールにて早くも再共演を果たした。現在ベルリンを拠点に活動を展開。

オフィシャルホームページ：www.annakurasawa.com

オフィシャルFacebook：www.facebook.com/annakurasawa

2015年9月24日、ナクソス・ジャパンよりファーストアルバムリリース!

ベルリン在住の才能溢れるピアニスト、倉澤杏菜。ファン待望のデビュー盤ついに登場です。倉澤の演奏は、2人の作曲家たちの溢れるエネルギーを全身で受け止め、自らの内に取り込んだ上で、新たな輝きを与えるもの。作品の持つ魅力をとことんまで描き出した迫真の名演と言えるでしょう。音響の良さでは定評のあるベルリン、イエスキリスト教会の豊かなアコースティックも聞きものです。

Anna Kurasawa

Brahms Piano Sonata F minor Op.5

Rachmaninov Six Moments Musicaux Op.16

2015.9.24 ON SALE

品番:NYCC-27297 価格:2,315円(税抜)+税

